

平成22年度 一般会計補正予算説明資料

3款 民生費

1項 社会福祉費

長寿社会課（内線：7175）

4目 老人福祉費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備考										
				国庫支出金	起債	その他	一般財源											
(新)「人」と「人」とをつなぐ 支え合いコーディネーター育成支援事業	0	2,189	2,189			(基金繰入金) 2,189												
トータルコスト	0	3,803	3,803	(補正に係る主な業務内容) 研修の企画・実施														
従事する職員数	0人	0.2人	0.2人															
工程表の政策目標(指標)	－																	
事業内容の説明																		
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>高齢となっても、障がいがあっても、住み慣れた地域で生き生きと生活するためには、地域住民自らの主体的な取組みによる地域活動が必要不可欠な役割を果たしている。</p> <p>こうした取組みを各地域に根付かせるため、活動の核となる「支え合いコーディネーター」を養成し地域住民による互助のまちづくりを推進する。</p> <p>なお、鳥取県型の支え合いの仕組みづくりに向けた人材育成事業として位置づけ実施する。</p> <p>【「支え合いコーディネーター」について】</p> <p>住み慣れた地域で生き生きと暮らしていける地域づくりに向けて、日常的な取り組みとして活動を実践する地域のキイ・パーソン。</p> <p>平成18～20年度にモデル事業として29名を養成、現在21地区で活動中。</p> <p>(実践事例)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">北栄町 みどり1区</td> <td>健康づくり、そば打ち体験などのサロン活動、紅葉狩り等の野外活動</td> </tr> <tr> <td>倉吉市 小田地区</td> <td>体操教室、会食、認知症学習会、防災研修などの集いの会</td> </tr> <tr> <td>鳥取市 城北地区</td> <td>地域通貨「城」の発行を通じて、買物、託児、タイヤ交換、庭手入等の住民相互の助け合い活動を実践</td> </tr> </table>									北栄町 みどり1区	健康づくり、そば打ち体験などのサロン活動、紅葉狩り等の野外活動	倉吉市 小田地区	体操教室、会食、認知症学習会、防災研修などの集いの会	鳥取市 城北地区	地域通貨「城」の発行を通じて、買物、託児、タイヤ交換、庭手入等の住民相互の助け合い活動を実践				
北栄町 みどり1区	健康づくり、そば打ち体験などのサロン活動、紅葉狩り等の野外活動																	
倉吉市 小田地区	体操教室、会食、認知症学習会、防災研修などの集いの会																	
鳥取市 城北地区	地域通貨「城」の発行を通じて、買物、託児、タイヤ交換、庭手入等の住民相互の助け合い活動を実践																	
<p>2 主な事業内容</p> <p>「支え合いコーディネーター養成研修」</p> <p>地域活動を実践していく上で生じる様々な課題への対応方法など地域活動に関する知識・技術を習得させる基礎的な研修を実施する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">①研修日程</td> <td>3日間コースのカリキュラムを3圏域(東中西部)で実施。</td> </tr> <tr> <td>②対象者</td> <td>地域住民有志、民生委員・児童委員、市町村職員等</td> </tr> <tr> <td>③養成予定</td> <td>東・中・西部各20名 合計60名</td> </tr> <tr> <td>④研修内容</td> <td>○高齢者や障がい者を巡る現状・制度 ○コミュニケーション技術・相談スキルの磨き上げ ○地域における課題(ニーズ)の捉え方 ○地域活動の実践(グループ・ワーク) など</td> </tr> <tr> <td>⑤所要経費</td> <td>2,189千円(財源:鳥取県介護基盤緊急整備等臨時特例基金) <内訳> ・研修講師及び実践例発表者に要する経費 1,287千円 ・事務的経費 902千円</td> </tr> </table>									①研修日程	3日間コースのカリキュラムを3圏域(東中西部)で実施。	②対象者	地域住民有志、民生委員・児童委員、市町村職員等	③養成予定	東・中・西部各20名 合計60名	④研修内容	○高齢者や障がい者を巡る現状・制度 ○コミュニケーション技術・相談スキルの磨き上げ ○地域における課題(ニーズ)の捉え方 ○地域活動の実践(グループ・ワーク) など	⑤所要経費	2,189千円(財源:鳥取県介護基盤緊急整備等臨時特例基金) <内訳> ・研修講師及び実践例発表者に要する経費 1,287千円 ・事務的経費 902千円
①研修日程	3日間コースのカリキュラムを3圏域(東中西部)で実施。																	
②対象者	地域住民有志、民生委員・児童委員、市町村職員等																	
③養成予定	東・中・西部各20名 合計60名																	
④研修内容	○高齢者や障がい者を巡る現状・制度 ○コミュニケーション技術・相談スキルの磨き上げ ○地域における課題(ニーズ)の捉え方 ○地域活動の実践(グループ・ワーク) など																	
⑤所要経費	2,189千円(財源:鳥取県介護基盤緊急整備等臨時特例基金) <内訳> ・研修講師及び実践例発表者に要する経費 1,287千円 ・事務的経費 902千円																	